

ウェルビーイング

すべての社員が心身ともに健康でいきいきと働くことができる環境を作りだします。そして、働きがいのある職場風土のもと、社員が自己の成長を実現させてその力を最大限に発揮できる機会を提供・支援していきます。

詳細についてはこちらをご参照下さい。

健康管理 <https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/employees/health/>

人材開発・キャリアデザイン <https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/employees/education/>

健康管理

方針と推進体制・定期レビュー

2019年3月期に制定した「富士通グループ健康宣言」の下で社員の健康を経営の基盤として位置付け、社員とその家族の健康の保持・増進を推進しています。

富士通および国内グループ会社においては、経営トップが健康経営推進最高責任者（CHO）となり、人事部門、健康推進部門、健康保険組合が連携して施策の実施、強化・拡充を推進しています。また、ヘルスケア関連事業部をはじめとした社内関係部門を含めた会議を定期開催し、データに基づいたPDCAサイクルを回す取り組みを国内グループ一体となって実施しています。

2019年は、富士通および国内グループ会社14社が、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2019」に認定されています。



人材開発・キャリアデザイン

方針と推進体制・定期レビュー

富士通では、経営層を中心とした「全社人材戦略委員会」を設置し、富士通のビジョン／事業戦略の実現に向けた人材戦略を討議しています。その戦略に沿って、人材開発部門が、各ビジネスグループやグループ会社と連携のうえ、人材育成・組織開発のための施策を企画・実行しています。

2020年3月期は、DX企業への変革を加速していくため、「社員1人ひとりが自律的にキャリア志向・強みに応じて目標を掲げ、学ぶことを支援する」という方針の下、多様な“個”がDXに必要なリテラシーやマインド、専門性をオンデマンドで学び、強みを磨き上げるための多様な学びの機会・環境の提供を進めています。加えて、キャリア選択の機会を拡充し、個々が描くキャリアを会社が支援していくことで、社員の成長を促し、エンゲージメントを高める施策・取り組みを進めています。

安全衛生への取り組み

富士通グループではすべての事業活動において、心とからだの健康と安全を守ることを最優先し、全国各地域の事情に合わせた、安全で健康的な職場環境づくりを進めています。

詳細についてはこちらをご参照下さい。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/safety/>

安全衛生に関わる方針・体制

富士通グループでは、企業指針の「安全・快適に働くことのできる職場環境を提供します」に基づき、「労働安全衛生基本方針」を定め、安全・快適に働く環境の整備と職場風土づくりをグループ一体となって推進し、社員の健康・安全の確保を図っています。

人事・総務部門連携のもと、各事業所に「安全衛生委員会」を設置するとともに、全体を統括する組織として「中央安全衛生委員会」を設置し、定期的に職場環境のチェック・共有・改善を行っています。

欧州における取り組み

例年、ILO（国際労働機関）が主催する「労働安全衛生世界デー」の趣旨に賛同し、広く社員の労働安全衛生に関する啓発活動を進めています。さらに、2019年3月期は労働災害の発生データの収集、活用に注力し、インシデント管理システムの構築を進めました。

サプライチェーン・マネジメント

富士通グループは、「お取引先との共存共栄」「お取引先の公平・公正な評価・選定」「CSRに配慮した調達活動の推進」を調達方針に掲げ、サプライチェーンにおけるCSRリスクのない責任ある調達の実現を目指します。

詳細についてはこちらをご参照下さい。

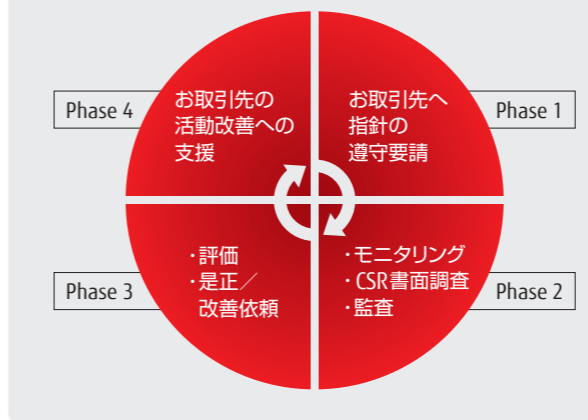
<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/procurement/>

サプライチェーン・マネジメントの方針とCSR調達活動

富士通グループは、2005年に「CSR調達指針」を制定し、国内外のお取引先に指針の遵守を要請してきました。そして、2017年にグローバルなCSRアライアンス「Responsible Business Alliance (RBA)」に加盟し、翌18年には、RBAの行動規範を「富士通グループCSR調達指針」として採用しました。富士通グループ全体で、RBAの行動規範を尊重し、お客様とともにサプライチェーンにおけるCSR調達に取り組んでいます。

調達部門においては、グローバルサプライチェーン本部が関連部門と連携し、主要なお取引先に対して、
① CSR調達指針による遵守項目の明示
② CSR調査票などお取引先に対するCSR調達の包括的な実施状況の確認
③ お取引先へのフィードバック
を行っています。その際、実地確認が必要であると判断させていただいたお取引先には、CSR監査を実施し、監査内容に基づき、改善計画の提出を要請し、改善に向けお取引先と共に取り組みを行います。お取引先においてCSR活動が適切に実施され、根付くことを目的にCSR調達の推進と改善プロセスを継続して実施しています。

CSR調達の推進と改善プロセス



CSR調達に向けた取り組み

高リスク鉱物への対応

富士通グループは、紛争を助長している、あるいは強制労働や人権侵害と関連しているリスクの高い鉱物について、富士通グループの製品や部品、およびサプライチェーンから排除する方針を掲げています。

この方針に基づき、経済協力開発機構（OECD）の「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンス・ガイダンス」を参考に、お取引先に高リスク鉱物調査への回答を依頼しています。現時点では、武装勢力と関わりのある情報は確認さ

れていませんが、引き続きサプライチェーンの透明化への取り組みを行っていきます。

グリーン調達の推進

富士通グループは、地球環境に配慮した部品・材料や製品の調達に関する基本的な考え方を「富士通グループグリーン調達基準」にまとめ、お取引先と共にグリーン調達活動の指針としています。また、「サプライチェーンにおけるCO₂排出量削減の取り組み」を実施しており、サプライチェーン一体となった環境負荷低減活動を推進しています。